

第186回研究科委員会・第288回教員会議 議事要録

日時：令和元年6月12日(水) 13:30～16:05

場所：後援募金記念棟 会議室1-2

会議の途中、着任した特任専門員(URA)の自己紹介と、産学官連携教員(URA)より著作権に関する説明があった。

議題

研究科委員会

[審議事項]

1. 研究科長

(1) 福島大学大学院共生システム理工学研究科担当教員資格審査に関する申合せについて

資料1に基づき説明され、審議が行なわれた。環境放射能学専攻も含め、申し合わせは一本化することとした。

2. 教務委員会

(1) 2019年度9月修了修士論文審査委員について

資料2に基づき、9月修了を予定している5名の大学院生の審査委員が提案され、了承された。修了判定の教員会議(9月18日)の定足数充足を心配する発言があり、出席するよう要請があった。

3. 国際交流センター運営会議

(1) 令和元年度後期大学間交流協定に基づく外国人留学生の受入れについて

資料3に基づき、大学院の1名の受入予定があり、受入予定教員の内諾を得ていることが説明され、了承された。今年度から、国際交流センターが受入学類の案を作成し、学類で受入を審議するように変更された。受入後の科目履修ルールや専門分野の適合性の検討など、心配な点があるので、国際交流センターに伝えることとした。

(2) 共生システム理工学研究科「地域実践研究」でのコロラド州立大学大学院生の受入について

資料4に基づき、8月に10日間の短期受入があることが説明され、了承された。

4. 学生生活委員会

(1) 入学料免除・入学料徴収猶予選考結果について

回収資料に基づき、選考結果が報告された。免除不許可者・半額免除者・徴収猶予者については、期日までに納入しない場合は除籍とする旨が説明され、了承された。

5. 入学試験委員会

(1) 大学院学生募集要項(英語版)について

資料5に基づき説明され、了承された。環境放射能学専攻のみ、英語版の出願用紙がある。英語版を希望する志願者に配布することとしている。

[報告事項]

1. 教務委員会

(1) 2019年9月修了博士論文予備審査結果報告について

資料6に基づき、予備審査結果が報告された。9月修了予定者は本審査に進む。

共生システム理工学専攻会議

[報告事項]

1. 国際交流センター運営会議

- (1) 大使館推薦による国費外国人留学生(研究留学生)にかかる受入教員調査について
資料7に基づき、照会があることが報告され、協力が要請された。
- (2) 学生の海外渡航プログラム実施時の手続きについて
資料8に基づき、学生の渡航が計画されている場合には国際交流センターに届け出るよう要請があった。
- (3) 特別聴講学生(交換留学生)の授業履修について
資料9に基づき報告された。

2. 入学試験委員会

- (1) 令和元年度10月期及び令和2年度大学院学生募集要項について
学生募集要項が完成し、支援室にも配置してあることが報告された。

教員会議

[審議事項]

1. 学類長

- (1) 客員研究員の任用について
回収資料に基づき説明され、担当教員から補足説明があり、任用が了承された。

2. 教務委員会

- (1) 2019年度非常勤講師計画について
資料10に基づき説明され、了承された。
- (2) 2019年度TA等経費予算について
資料11に基づきTA予算の算定ルールと配分案が説明され、了承された。
- (3) 新カリキュラムのコース及び研究室配属方法について
資料12に基づき、新カリの配属方法の検討状況が説明され、アンケートを実施することが了承された。6月21日を締切とするアンケートへの協力が要請された。
- (4) 非正規生(研究生)の受け入れについて
資料13に基づき1名の受入について説明され、了承された。

3. 財務・施設委員会

- (1) 平成30年度決算について
資料14に基づき、平成30年度決算について説明があり、了承された。

4. 学生生活委員会

- (1) 入学料免除・入学料徴収猶予選考結果について
回収資料に基づき、選考結果が報告された。徴収猶予者については、期日までに納入しない場合は除籍とする旨が説明され、了承された。

[報告事項]

1. 学類長

- (1) 令和元年6月期勤勉手当に係る「勤務成績が特に優秀な職員」及び「勤務成績が優秀な職員」(教育職員)の推薦について
特に優秀な職員3名と優秀な職員11名の氏名が投影された。学類長の指導を受けても改善が見られないとして、「良好でない職員」1名を人事課に通知したことが、併せて報告された。
- (2) 令和元年6月期における期末手当及び勤勉手当の加算該当者の推薦について
加算該当者、5級6名・4級3名の氏名が投影された。

2. 教務委員会

- (1) 学生の休学について
休学者1名の情報が投影された。
- (2) 研究室配属の今後の予定について
資料15に基づき、今後のスケジュールが説明された。
- (3) 2018年度TA等経費の決算額について
資料16に基づき、決算が報告された。予算超過した科目と残額が大きい科目があるが、全体では予算内に納まる結果であった。
- (4) 第3回全学教務協議会について
(報告事項)
 - ・平成30年度後期成績分布の公開について
資料17に基づき報告され、認証評価に向けて成績分布に一層の注意を払う必要性が説明された。どのような場合に「S」をつけるかなど、今年度からの変更についてどう対応するのか質問があった。昨年度取りまとめた資料に概要は記されているが、今後も教務協議会等で提起することとした。
 - ・平成31年度シラバス点検の結果について
資料18に基づき報告された。5月末時点で9件の不備があり、対応中である。

3. 財務・施設委員会

- (1) 平成31年度予算配分(案)の訂正について
資料19に基づき、前回の教員会議で報告した予算配分(案)の訂正について報告された。
- (2) 2019年度スペースチャージの徴収と活用について
資料20に基づき報告された。各自の使用状況の確認と、スペースチャージを差し引く予算の指定が要請された。
- (3) 院学生会発表旅費と論文掲載料の申請状況について
資料21に基づき申請の集計結果が報告され、予定通り執行できることがアナウンスされた。

4. 国際交流センター運営会議

- (1) 学生の海外渡航プログラム実施時の手続きについて
資料8に基づき、学生の渡航が計画されている場合には国際交流センターに届け出るよう要請があった。
- (2) 特別聴講学生(交換留学生)の授業履修について
資料9に基づき報告された。
- (3) 令和元年度交換留学派遣学生の決定について
資料22に基づき、27名の派遣(うち本学類3名)が報告された。
- (4) 国費留学生等(学類)の受入れ可能人数等の調査について
資料25に基づき、文部科学省からの照会に応えるための情報提供が要請された。学類生として国費留学生を受け入れた実績は過去にないことが、補足説明された。

5. 入学試験委員会

- (1) 令和2年度(2020年度)入学試験(全学)の日程について
資料23に基づき入試日程が決定したことが報告され、日程確保が要請された。

6. 入試広報委員会

- (1) メッセージプロジェクトについて
資料24に基づき報告され、グループアドバイザーには1年生に協力を呼びかけるよう要請があった。

7. 奨学寄附金等の受入れについて

資料が投影され、奨学寄附金 1 件、共同研究 2 件、受託研究 1 件の受入が報告された。

8. その他

なし

教育研究評議会

第 3 2 0 回（6 月 4 日開催）報告

[審議事項]

(1) 平成 3 0 事業年度に係る業務実績報告書について

パブリックコメントの実施中である。

[報告事項]

(1) 第 3 期国立大学法人評価の学群・研究科等（現況分析単位）所属希望について
食農学類の新設に伴い、所属希望が追加された。

(2) 正規教員採用にあたっての新たな年俸制への対応について
次年度以降に採用となる教員は新たな年俸制が適用となる。

(3) 就業規則の一部改正について
職場代表者の意見書について報告された。

(4) 労使協定の締結について
年休を計画的に使用する件で、協定が締結された。

(5) 平成 3 1 年度科学研究費助成事業採択状況について
採択状況が報告された。

(6) 郡山市と福島大学との包括連携に関する協定の締結について
協定が締結された。

(7) 平成 3 0 年度「F U R E 活動報告」及び令和元年度「F U R E 事業計画」について
活動報告と事業計画の報告があった。

(8) 平成 3 0 年度「I E R 活動報告」及び令和元年度「I E R 事業計画」について
活動報告と事業計画の報告があった。

(9) その他

令和元年度研究・地域連携成果報告会について
成果報告会の開催が報告され、参加が呼びかけられた。

運営会議

第 1 2 4 回（5 月 2 8 日開催）報告

(1) 「教育職員の勤勉手当について」の一部改正について
改正内容が報告された。

(2) 公用車の使用について
事故や破損が相次いだことが報告された。

(3) 2 0 1 9 年度高校訪問について
今年度の高校訪問計画が報告された。

(4) 教員の学系所属について
新規採用者などの学系所属が報告された。

(5) その他

平成 3 0 年度印刷経費実績について
カラー印刷の抑制等で削減できた。

平成 3 0 年度の電気・ガス・水道の使用量等について
使用状況が報告され、節電、省エネが呼びかけられた。本学類研究実験棟で水道使

用量が増加した件の原因は、多量の冷却水を継続的に使用したためと推定されたことが報告された。